

平成18年度 和歌山県文化奨励賞

すず き り さく
鈴 木 理 策

住 所：東京都港区

出 身 地：和歌山県新宮市

生 年：昭和38年

■現在

写真家

東京芸術大学助教授

◎業績及び経歴

昭和38年、新宮市に生まれる。

昭和62年、東京総合写真専門学校研究科修了後、アメリカの写真に興味を持ち、全米各地を旅行する。

昭和60年にグループ展参加、平成2年に初個展を開催して以降、精力的な活動を続けている。

平成10年、故郷熊野の御燈祭りへの旅程をとらえた写真集「KUMANO」を出版する。

平成12年、熊野と青森・恐山という2つの聖地への旅を連続した写真によって表現した写真集「PILES OF TIME」で、「写真界の芥川賞」と呼ばれる第25回木村伊兵衛写真賞を受賞、さらに、平成15年にはアメリカのヒューストン美術館などで開催された「日本写真史展」に選出されるなど、国際的にも活躍している。

平成16年、和歌山県立近代美術館で「唯一の時間」というタイトルで、故郷である熊野をテーマに作品を発表、従来の観光写真的でない視点から制作された写真が連続する空間によって、熊野の新たな一面を照らし出した。

熊野、吉野桜、画家セザンヌの描いたサント＝ヴィクトワール山などを主題に、写真と視覚の関係を追求する作品を発表し続けている。

■主な表彰歴等

平成12年 第25回木村伊兵衛写真賞

平成18年 第22回東川賞